



3/20 さくらホールの舞台裏側を探検

バックステージツアー

さくらホールfeat. ツガワのバックステージツアーは、2年ぶりに開催されました。同ホール職員が大ホールの照明や音響技術を解説・実演し、奈落や楽屋を案内。参加者は舞台の裏側に興味を示していました。

加久保宏季君（江釣子小1年）は父親の彰宏さん（32歳）と参加し「マイクで話すとやまびこが返ってきて、誰かがまねしているみたい」と音響のエコーを楽しんでいました。



3/28 米国の作曲コンテストでグランプリ受賞

初参加で長屋凜さんが快挙

ジョン・レノン・ソングライティング・コンテストのワールド部門でグランプリに輝いた、当市出身の長屋凜さん（米国パークリー音楽大学3年）は、オンラインで八重樫市長に受賞を報告しました。

長屋さんはアイヌ文化に着目し、伝統音楽などを曲に取り入れるワールド部門に挑戦。受賞について「評価されてうれしい」と喜び、「将来はグラミー賞の受賞を目指したい」と抱負を語りました。

3/12 つながりの創出、新たな可能性を発見 北上市まちづくりマッチングフェア

北上市まちづくりマッチングフェアは、生涯学習センターで開催されました。企業や市民活動団体、地域づくり組織など、まちづくりに取り組む24団体が参加し、約100人が来場。活発な情報交換が行われました。プログラミング教育を行うYumePro/iTeenオンライン校の佐藤夢斗教室長（20歳）は「やりたいことがあったりもうまく広めることができなかった。このような機会があった良かった」と喜びました。



3/22 未永く美しい桜が咲くように

東桜小に小金井薄紅桜を植樹

小金井薄紅桜の植樹式は、展勝地に近く、校名に桜を由来とした東桜小学校で行われました。当市と小金井市が桜に関する交流があることから、創立60周年を迎えた東京小金井ロータリークラブ（東京都小金井市）が、当市に桜を寄贈しました。

同ロータリークラブの曽根隆寛会長は「北上市と小金井市の、長く深い縁をつないでいきたい」とあいさつし、同校の児童らと植樹しました。



4/4

心躍る季節の到来、桜の便り届く

北上展勝地さくらまつりが開幕

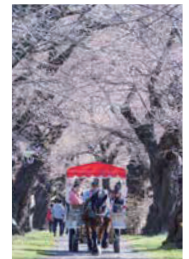
北上展勝地さくらまつりは、昨年より5日早く、過去最速で開幕しました。開催式では、たちばなこども園の園児が歌や踊りを披露。その後、バルーンリリースで開幕を祝いました。

同まつり実行委員会の八重樫守民会長は「関係団体が一生懸命準備し、受け入れは万全。素晴らしいまつりになることを願う」と語り、八重樫市長は「市内の各団体や企業などに清掃活動していただき、きれいな環境での開催に感謝する。皆さんと一緒にまつりを盛



り上げたい」とあいさつしました。

公園内には2kmにわたる桜並木や約150種のさまざまな桜が咲き誇ります。また、29日までの期間中は観光馬車や屋台、多彩な民俗芸能公演、夜桜ライトアップなど、内容盛りだくさんです。



3/8-10 市民による手作りの舞台演劇

北上市民劇場「未来圏への風」

第45回北上市民劇場「未来圏への風」は、さくらホールfeat. ツガワで開催されました。市民ら延べ100人のキャスト、スタッフにより2作品が上演され、最終日には同時手話通訳も行われました。3日間の全4公演で300人以上が来場し、温かい拍手が送られました。

小田島琴子さん（60代・花巻市）は、娘の賀津江さんが出演し「ニコニコと演技していたし、皆さんも堂々としていた」と感心していました。



3/11 15年間連続、通算20回目の全国出場 専修大学北上高校卓球部が報告

第51回全国高等学校選抜卓球大会（3月22日～24日、山形市など）の切符を勝ち取った、専修大学北上高校卓球部の主将らは、市本庁舎を訪れ、八重樫市長に15年間連続で通算20回目の全国大会出場を報告しました。

鈴木李空主将は「支援いただいている皆さんに感謝して、全力で戦いたい」と抱負を語り、全国の大舞台に臨みました。

